

「二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金（地域における草の根活動支援事業）」活動報告

低炭素化社会の実現に向けて

里山資源の循環的利用

～おじいさんは、また柴かりに行くのか！？～

開催日時 : 平成 27 年 1 月 18 日 (日) 10:30～16:00
開催場所 : 芥川緑地資料館 あくあびあ芥川
内 容 : 低炭素化社会の実現に向けて 里山資源の循環的利用
～おじいさんは、また柴かりに行くのか！？～

●体験型イベント

- ・薪割り機による薪割り体験

小柿 正武 (森のプラットフォーム高槻)

- ・花炭窯を利用した花炭焼き体験

都解 浩一郎 (大阪府森林組合)

●展示説明

- ・ペレットストーブの説明や森林組合の取り組みなど

都解 浩一郎 (大阪府森林組合)

●講演会 (ミニトーク)

- ・「里山の木質バイオマス利用」

都解 浩一郎 (大阪府森林組合)

- ・「里山保全活動事例発表」

小柿 正武 (森のプラットフォーム高槻)

- ・「里山と生物多様性」

佐久間 大輔 (大阪市立自然史博物館)

※進行 : 天満 和久 (大阪自然史センター)

参加者 : 20名

当日の様子 :



当日の様子（つづき）



ペレットストーブの説明の様子

はじめに、森林組合の都解さんからペレットストーブについての話しを聞いた。高槻市内で、それに用いるペレットが加工して作られている。

広報的には、「あくあびあ」との共催ということで、高槻市の広報でもイベント案内が掲載された。一方で、前回同様に NatureStudy 等での博物館関係の広報もあり、大阪府外（福井県）からの参加者もあった。同助成事業の関連のつながりでもある。



薪割り機による薪割り体験の様子

地元高槻市の中で確認されているカシノナガキクイムシによる被害で伐採した雑木などを活用して、薪割り機による薪割り体験も行った。

地元の博物館ということもあり、参加者の中には子どもの参加もあり、さまざまな体験活動を楽しんでいた。

カシノナガキクイムシなどについては、大阪市立自然史博物館の佐久間さんから説明がなされた。



花炭窯による花炭焼き体験の様子

初めて木を燃やしたり、ツバキの花やマツボックリやドングリなどを入れて炭を焼いてみた。



講演会（ミニトーク）の様子

地元高槻市の里山保全活動の事例紹介（小柿さん）や森林組合の取り組みなど（都解さん）を話していただき、里山の問題などについて、より地域に根付いたものとして意識をもってもらった。里山の利活用や生物多様性に関しては、佐久間さんに話していただいた。

地域の取り組みなど、さまざまな点で非常に活発な意見交換がなされて、予定時間を延長した。